

リモートI/O R7 シリーズ		
取扱説明書	HLS 用、入出力別コモン 接点 8 点入力、マイナスコモン(NPN 対応) トランジスタ 8 点出力ユニット	形 式
		R7HL-DAC16ES

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・接点入出力ユニット1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・通信ケーブルは、二重シールドケーブル（ZHY262PBPA 伸光精線工業株式会社）を使用して下さい。二重シールドケーブルで十分なシールド効果が得られない場合は、フェライトコア（GRFC-13 北川工業株式会社または相当品）を取付けて下さい。
- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC \pm 10 %、約 40 mA

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源、入力信号および出力信号を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

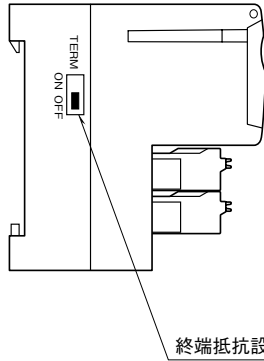
●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

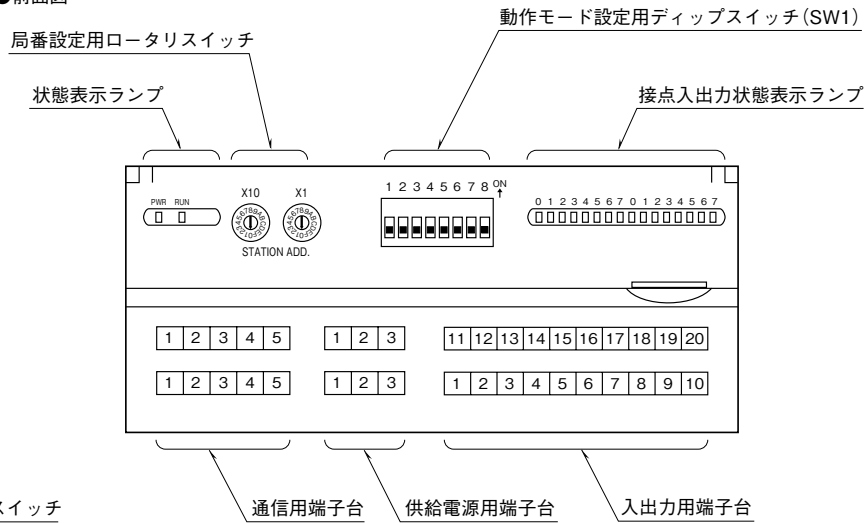
「HLS」は、株式会社ステップテクノカの Hi-speed Link System を表します。

各部の名称

●左側面図



●前面図



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
PWR	緑色	内部 5 V 正常時点灯
RUN	緑色	リフレッシュデータの正常受信時点灯

■接点入出力状態表示ランプ

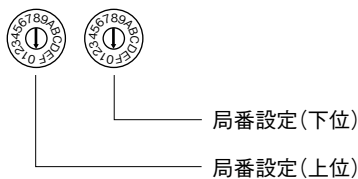
各入出力の状態をランプで表示します。

- ON : 赤色点灯
- OFF : 消灯

■局番設定

リモート I/O ターミナルでは、局番 (16 進数) の上位桁を左のロータリスイッチで、下位桁を右のロータリスイッチで設定します。

占有局数は 1 局で、ロータリスイッチで設定した局番がそのまま設定されます。(設定可能範囲: 01H ~ 3FH)



■動作モード設定

(*) は工場出荷時の設定

●通信断時出力設定 (SW1-7)

SW1-7	通信断時出力
OFF	出力保持(前回正常受信データを保持) (*)
ON	出力クリア(出力を OFF)

●伝送速度設定 (SW1-8)

SW1-8	伝送速度
OFF	12 Mbps (*)
ON	6 Mbps

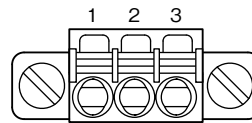
注) SW1-1 ~ 6 は未使用のため、必ず "OFF" にして下さい。

■終端抵抗設定

終端抵抗を有効にする場合にはスイッチを ON、無効にする場合には OFF に設定して下さい。

(出荷時設定 OFF)

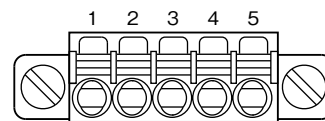
■供給電源の配線



- ① +24V 供給電源 (24V DC)
- ② 0V 供給電源 (0V)
- ③ FG FG

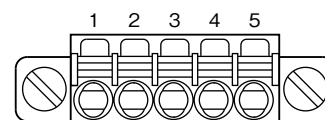
■通信の配線

●全二重通信の場合



- ① RXD- 通信ライン (マスタ送信-)
- ② RXD+ 通信ライン (マスタ送信+)
- ③ TXD- 通信ライン (スレーブ送信-)
- ④ TXD+ 通信ライン (スレーブ送信+)
- ⑤ SLD シールド

●半二重通信の場合



- ① NC 未使用
- ② NC 未使用
- ③ TR- 通信ライン
- ④ TR+ 通信ライン
- ⑤ SLD シールド

■入出力端子配列

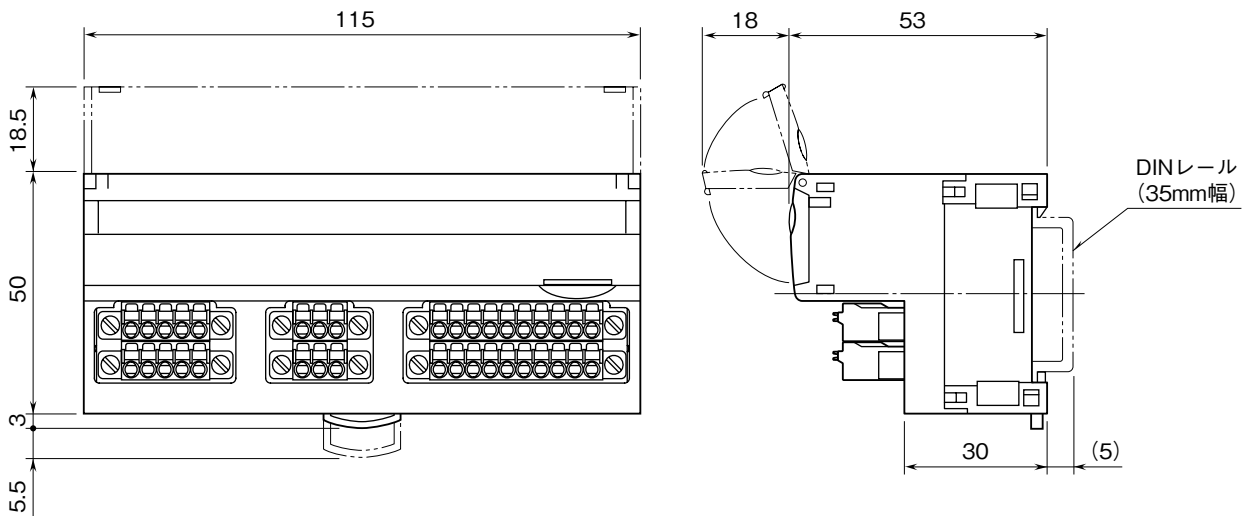
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
COM	X1	X3	X5	X7	Y1	Y3	Y5	Y7	+24V
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
COM	X0	X2	X4	X6	Y0	Y2	Y4	Y6	0V

端子番号	信号名	機能	端子番号	信号名	機能
1	COM	入力コモン	11	COM	入力コモン
2	X0	入力0	12	X1	入力1
3	X2	入力2	13	X3	入力3
4	X4	入力4	14	X5	入力5
5	X6	入力6	15	X7	入力7
6	Y0	出力0	16	Y1	出力1
7	Y2	出力2	17	Y3	出力3
8	Y4	出力4	18	Y5	出力5
9	Y6	出力6	19	Y7	出力7
10	0V	0V(出力コモン)	20	+24V	24V DC

接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

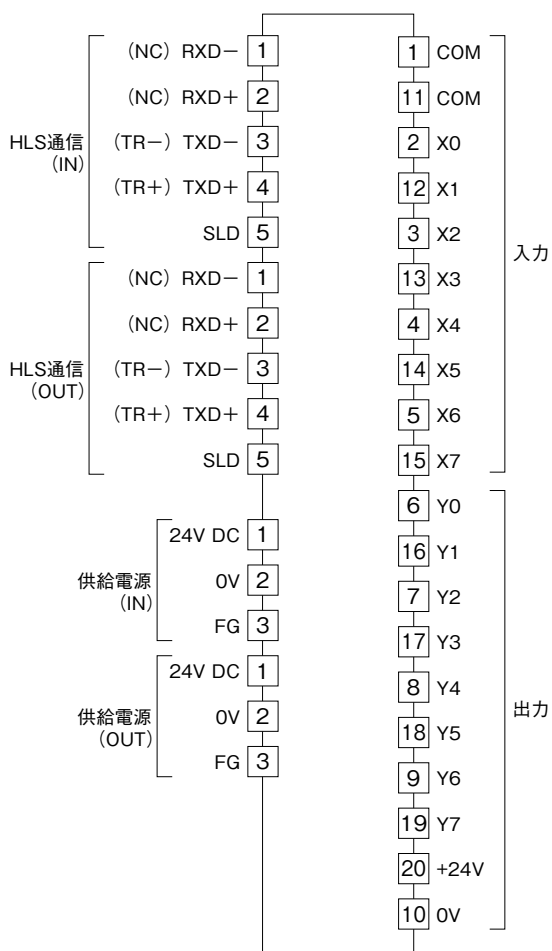
外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図

EMC（電磁両立性）性能維持のため、FG 端子を接地して下さい。

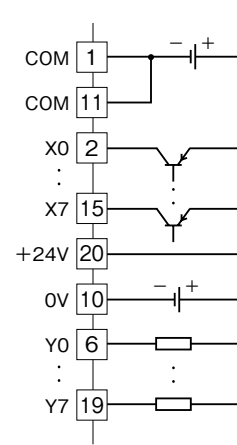
注）FG 端子は保護接地端子（Protective Conductor Terminal）ではありません。



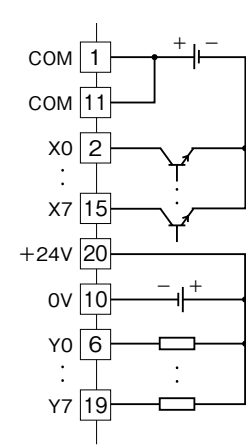
注）（ ）内は半二重通信時の接続です。

■入出力部接続例

入力部PNP接続例



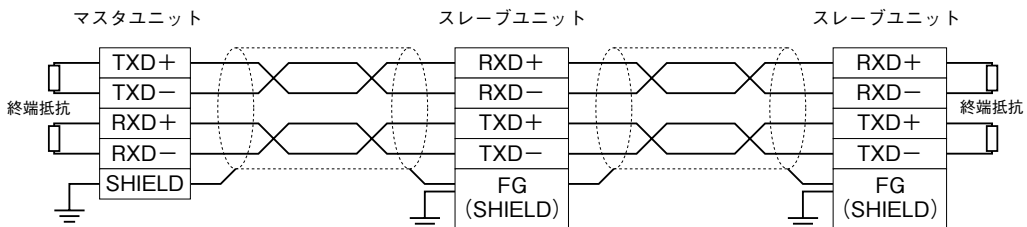
入力部NPN接続例



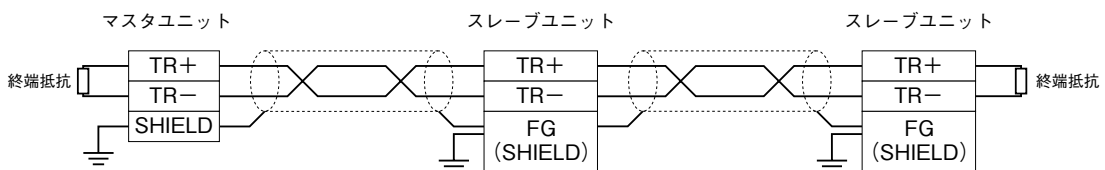
通信ケーブルの配線

■マスタユニットとの配線

●全二重通信の場合



●半二重通信の場合

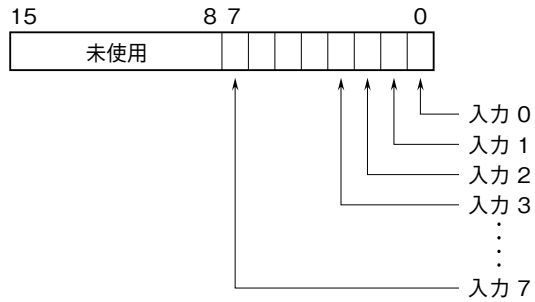


注）両端のユニットには、必ず終端抵抗設定用スイッチをONして下さい。

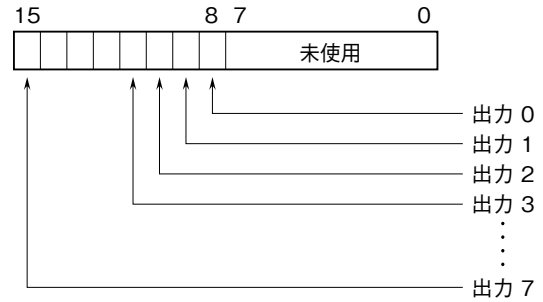
ビット配置

■接点入出力

・ Di領域



・ Do領域



0 : OFF
1 : ON

配線

■推奨圧着端子

・ 通信ケーブル

ZHY262PS、ZHT262PS、ZHY262PBA 使用時
TUB-0.5 (日本圧着端子製造製)

ZHY221PS 使用時 AI0.5-10WH (フエニックス・コンタクト製)

・ そ の 他 : AI0,25-10BU 0.25 mm²
AI0,34-10TQ 0.34 mm²
AI0,5-10WH 0.5 mm²
AI0,75-10GY 0.75 mm²
A1-10 1.0 mm²
A1,5-10 1.5 mm²
(フエニックス・コンタクト製)

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。